

# M2 HWRAIDミニストレージモジュール(UCS-M2-HWRAID)でM2ドライブのRAIDを設定

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[セットアップと設定](#)

## 概要

このドキュメントでは、M2ハードウェアRAIDストレージモジュール(UCS-M2-HWRAID)によって制御されている場合に、RAIDでM.2 SATAドライブを設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- UCS Manager のファームウェア:4.0(4a)以降

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- UCS-M2-HWRAID(内部名 : ノーバレー)
- 240 GB M.2 6G SATA SSD
- ファームウェア4.0(4e)を実行するUCS Managerに統合されたC240 M5SNサーバ。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## セットアップと設定

初期設定には、C240 M5SNに物理的にインストールされたUCS-M2-HWRAIDがUCSMインベントリで検出されないシナリオが含まれます。

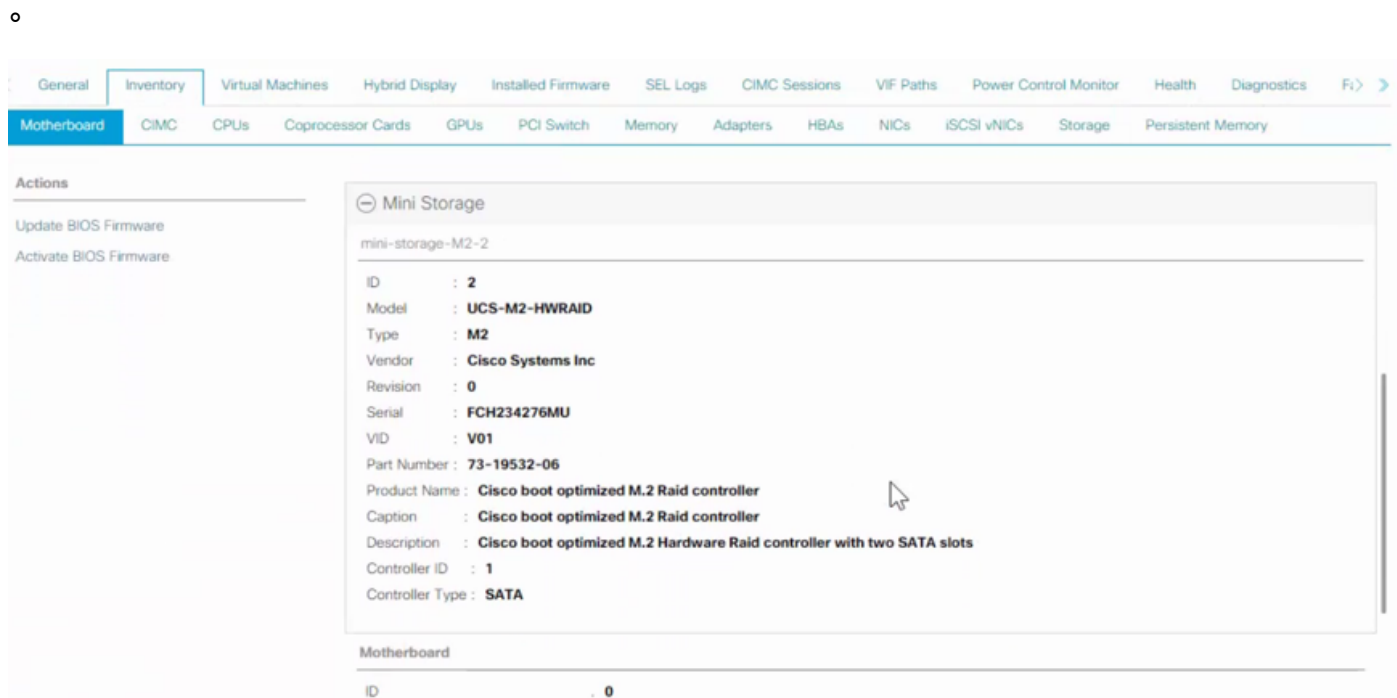
サーバcimcは、センサー値を0x0180と表示します。これは、プレゼンスセンサーによって検出されたミニ記憶モジュールの有無を示します。

MINI\_STORAGE\_PRS | disc -> | discrete | 0x0280 | na | na | na | na | na | na | na | na | na

この場合、ミニストレージモジュールを取り付け直すと役立ちます。

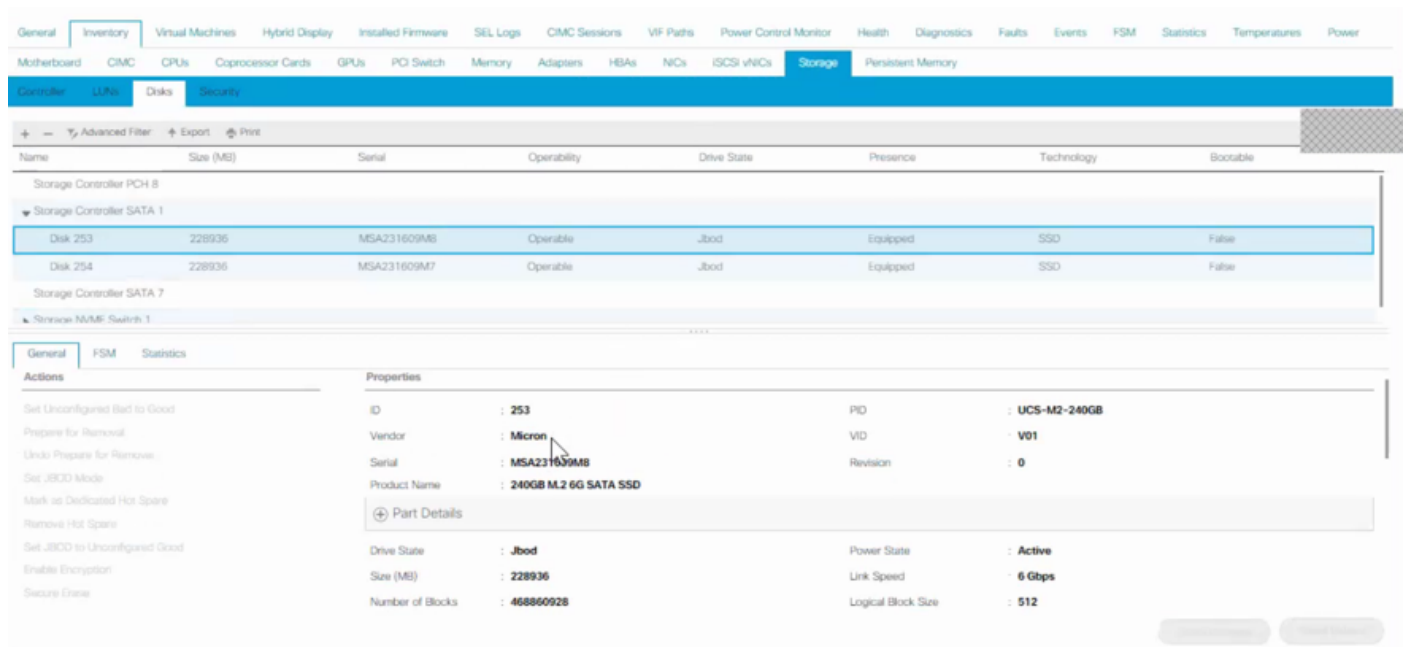
モジュールは、センサー値0x0280でサーバインベントリで正常に識別されました。

UCSMでは、次の図に示すように、サーバインベントリにストレージモジュールが表示されます。



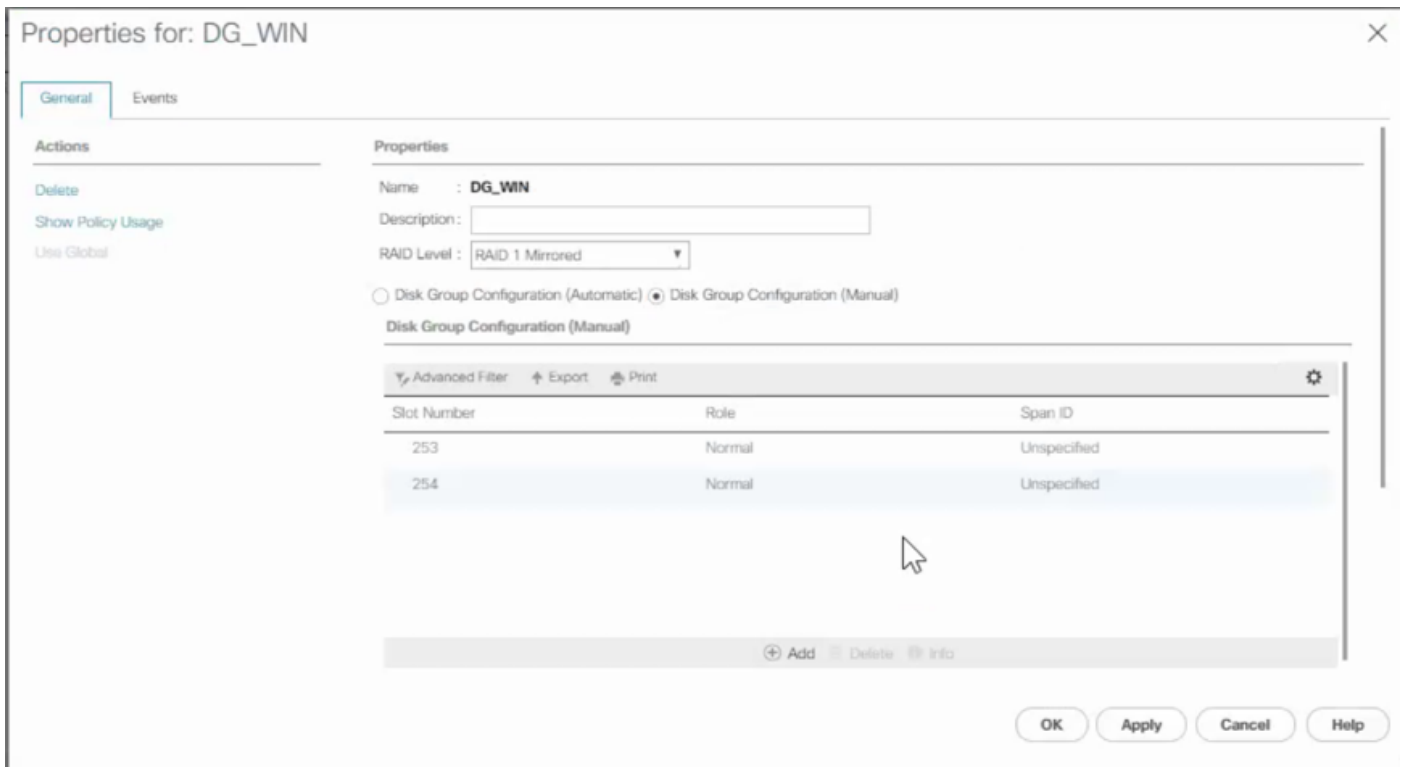
コントローラSATA 1としてM2-HWRAIDを検出

ドライブは最初はJBODとして表示されます

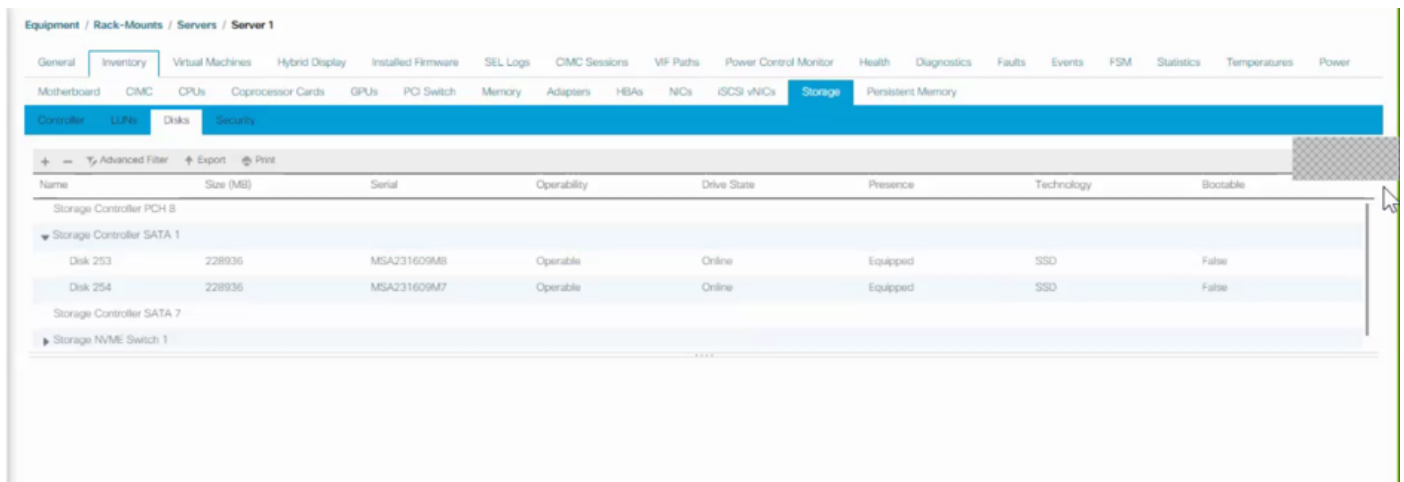


サーバに関連付けるサービスプロファイルのストレージプロファイルを作成します。ディスクグループの設定は、特定のRAIDレベルで構成されたディスクを使用して手動で行います。1は、指定された構成でサポートされるディスクです。

図に示すように、ディスクスロットによって明示的に指定されたドライブ：



ドライブはJBODモードからオンラインになります。



注：M2-HWRAIDは、JBODとRAID 1の2つのモードのみをサポートします。

Description	Fort Point	Noe Valley
RAID	Broadcom Software RAID Driver	Marvell HW RAID
RAID Modes	RAID 1, 0 or JBOD	RAID 1 or JBOD
Number of Volumes	Up to 16?	1
Boot Modes	UEFI	UEFI

前面パネルドライブがSWベースのRAIDコントローラによって制御されている場合を除き、pSATAを有効にする必要はありません。

サービスプロファイルを正常に関連付け、サーバはM.2ドライブにOSをインストールする準備ができています。

RAIDレベル1で設定されたディスクグループポリシーを使用してサービスプロファイルを適用すると、設定のエラーメッセージが次の理由で失敗します。

「サーバはサービスプロファイルのローカルディスク設定要件を満たしません。全体として十分なリソースがない」と述べた。

pSATAを無効にし、手動ディスクグループ構成を使用してRAIDで構成するディスクを指定する必要があります。